

成長するアジア市場の需要を取り込み、さらなる発展を目指すタイ工場

ASM社とSEST社は2001年に設立され、海外の主力生産工場として発展をしてきました。

両社はさらなる発展を目指して、生産能力の増強、生産性や品質の向上など、さまざまな取り組みを進めています。

アジア シリコンズ モノマー (ASM社) シンエツ シリコンズ タイランド (SEST社)

タイ工場は、シリコンモノマーを生産するASM社とシリコンポリマーを生産するSEST社があります。

現在、両社では生産能力の増強を進めており、増強後はシリコンモノマーは年産7万トンから10万5千トン(5割増)に、シリコンポリマーは年産5万4千トンから7万4千トン(約4割増)になります。増強工事は、それぞれ2017年に完了する予定です。

また、成長するアジア市場の需要拡大に対応するため、タイ工場の隣接地約38ヘクタールの土地を新たに工場用地として取得しました。

- 設立年月: 2001年2月
- 敷地面積: 660,000m²
- 生産品目: 各種シリコン製品

ASM社・SEST社のトピックス

- 2001年 2月 ASM社・SEST社を設立
- 2013年 5月 GE社 (General Electric Company) 保有の株式を全量買い取り、ASM社を完全子会社化
- 2014年 10月 ASM社・SEST社の操業10周年記念式典を開催
- 2015年 3月 ASM社・SEST社の生産能力増強を発表
- 2015年 10月 タイ工場の隣接地を新たに事業用地として取得したことを発表



アジア シリコンズ モノマー



シンエツ シリコンズ タイランド

TOPICS

工場周辺はこんなところ

ジャングルから工業地帯へと変貌を遂げるエリア

ASM社とSEST社の工場は、首都バンコクから約200km、タイ東部のラヨーン県にあるマブタブット工業団地内に立地しています。この工業団地は、1980年代に重化学工業用として開発され、タイの化学産業を支えてきました。化学工場が集積している地域で、実際に訪れると近代的な工場設備が立ち並ぶ景色に圧倒されますが、当社が入居している工業団地の土地は、もともとは木々の乱立するジャングルでした。このため、工場の建屋の上から周囲の景色を見渡すと、近代的な工場設備とともに木々の生い茂る土地が目に見えて飛び込んできます。



タイ工場建屋の最上階から見たマブタブット工業団地